

予期せぬ災害に備えて

津波災害に対する市や地域での
取り組みについてお知らせします
問い合わせ 総務グループ (☎85) 1130)



東 日本大震災から4
カ月が過ぎようと
しています。

震災が起きた3月11日、
北海道太平洋沿岸西部に
大津波警報が発表されま
した。

登別市では6月の津波
の到達が予想されました
が、幸いにも予想を下回
り、登別漁港の漁船など
に被害はあったものの、
人的被害や一般家屋の被
害はありませんでした。

しかし東北地方では多
くの方が亡くなり、依然
として行方不明となっ
ている方もいます。

市はこれまで、姉妹都
市の宮城県白石市など、
被災地に対する支援を進
めてきましたが、それと
同時に、今後、いつ起こ
るかわからない大津波へ
の対策を進めています。

今号では、津波に対す
る市の取り組みと、それ
ぞれの地域の取り組みを
お知らせします。

(写真は、津波により中
心街が姿を消した宮城県
山元町の様子)

これまでの市の取り組み

『震災対応市民連絡 会議』の立ち上げ

3月24日、東日本大震災による
大津波の被害を教訓に、市全体で
危機管理体制を構築し、安全で安
心なまちづくりを推進するため、
市・登別市連合町内会・登別市社
会福祉協議会の3者による『震災
対応市民連絡会議』を立ち上げま
した。

『震災対応市民連絡会議』では、
市民・行政・関係機関が協働で、
市内の避難場所の見直しや、的確
な情報共有のあり方などについて
積極的に議論しています。

大津波における高台 の避難場所の設定

3月11日、北海道太平洋沿岸西
部に大津波警報が発表されました
が、実際に登別に来た津波は、幸
いにも予想を下回るものでした。

しかし、大津波警報が発表され
たときは、予想通りの津波が押し
寄せてくると想定し、とにかく高
台に逃げなければなりません。

市は今後、そのようなことが起
こったとき、市民の皆さんが迷わ
ずに避難できるよう、緊急措置と
して『大津波における高台の避難
場所』を地域ごとに設定すること
としました。

高台の避難場所についての協議

『震災対応市民連絡会議』では、
市が作成した『大津波における高
台の避難場所』の候補地について、
それぞれの高台が避難場所として
適切であるかどうかを、各町内会
などに依頼し、調査や検証を進め
ていくことが承認されました。

各町内会などに調査・検証の 協力を依頼

現在、登別市連合町内会を通じ
て各町内会の協力を得て、『大津
波における高台の避難場所』につ
いて、想定される課題事項の調査
や検証をしています。

各町内会などでは、図面を使っ
て高台の場所の確認をしながら、
その高台に避難するまでの所要時
間などを調べるとともに、課題点
や問題点を洗い出す作業を行って
います。